



懇談終了-それぞれの進路決定が終わりました

進路に向けての心構え

いよいよラストスパートの時期に入ります

最後の保護者懇談が終了しました。今週は保健体育と技術・家庭科の最終テストがあります。それが終わると、2学期もあと残り1週間。暦の上では長い2学期ですが、過ぎてみるとあっという間だったような気がします。皆さんはどう感じたでしょうか？

さて、これからは20日間の冬休みを含めた「受験へのラストスパート」の時期に入ります。それぞれの目標に向けた心構えは、しっかりできているでしょうか。

■健康に気を付けて規則正しい生活を

勝負の時が近づいています。早い人はもう休み明け早々に受験を控えています。冬休みで起床時間のリズムが大きく乱れたりしないように気をつけましょう。朝～昼にベストな状態がくるよう、生活リズムを整えましょう。不摂生で体調を崩したり、睡眠時間、起床時間のリズムが大きく乱れないように気をつけましょう。

■驚異的な実力アップは望めない

たった20日間で驚異的な実力アップは望めません。『実力養成強化実戦対策特別選抜…』の講習を数日受けようと、『難関突破特別選抜厳選実力コン』テストを何度受けようと、脚の細い台には過重な荷物は載らないのです。『こんなのが出ても大丈夫！』なようにするより、『みんなができるであろう』問題や知識、つまり基礎の確実性を高めることの方が有効だと思います。まして、基礎がしっかりしていない教科や単元があるのなら、余計な荷物を増やすより、足元を固める方が大切です。受験日までの50～60日間を見通した、“自分で考える”受験勉強計画を立てましょう。

■ここからは日程に追われてはダメ！

3学期(1月)からの日程は、教えられて対応しているようではダメです。自分に関わりのある日程は、すでに確認したはず。先を見通しておきましょう。



■自分が選んだ進路目標に集中する

私立の単願・専願(1月)は1月中に合否が決定します。3学期が始まれば、公立推薦受検までは残り4週間足らずということになります。私立一般入試までは28日・公立の一般入試までは47日といった日数しかありません。

こんな短い期間の中、自分の目標に向けて受験勉強や授業に集中できないようでは困ります。その人自身も困るし、まわりの人にも迷惑になりかねません。それぞれが自分の目標に向かって集中して取り組める環境を維持していきましょう。

■何かに『判定』してもらっただけでなく自分の判断に自信を！

土壇場の、しかもたった1・2回の模擬テストの判定で安心を得ようとしたり、逆にその『判定』だけで自信を無くしているようでは、自分の判断に自信をもって向うことはできません。

何かの『判定』よりも、自身の『手ごたえ』こそ大切。模擬テストを利用することは大いに結構ですが、その判定だけに進路決定(もはや出願変更しかありませんが…)をゆだねるのはどうかと思います。色々な人の意見を参考にするのは結構ですが、まずは自分の判断に自信をもちましょう！そのために悩んだり、相談を重ねてきたのですから。